

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ツマジロクサヨトウの発生状況（技術情報第10号）について（送付）  
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

令和2年（2020年）9月9日に県内のスイートコーン生産ほ場において、ツマジロクサヨトウ幼虫の発生が確認されました。今後、スイートコーンや飼料用トウモロコシ等の農作物で、特に生育初期に被害が発生することが予想されますので、生産ほ場を定期的に見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

1 発生状況

- （1）令和2年（2020年）9月9日に県内のスイートコーン生産ほ場においてツマジロクサヨトウ幼虫の発生が確認された。なお、スイートコーンでの発生は県内初記録である。
- （2）合志市におけるフェロモントラップの誘殺数は、9月第1半旬より急増している（図1）。
- （3）今後、スイートコーンや飼料用トウモロコシ等の農作物で、特に生育初期に被害が発生することが予想される。

2 防除対策等

- （1）本種は主に飼料用トウモロコシ、スイートコーンやソルガムなどを食害する（図2、図3）。特に生育初期に食害されると、被害が大きくなり減収につながるため、定期的な見回りによる早期発見に努め、発生が確認された場合には速やかに農薬等を用いて防除を行う。なお、ツマジロクサヨトウと判断しがたい場合には、病害虫防除所に相談する。
- （2）現在、本種に登録がある農薬は無いが、本種の防除に必要な農薬の適用が行われるまでの間は、植物防疫法第29条第1項の規定に基づき、県の指導により防除を行う場合に限り、別添の農薬リスト（令和2年8月3日時点）に記載された農薬を使用して防除を行うことが可能である。
- （3）農薬の散布に当たっては、新葉の葉鞘基部に潜り込んでいる幼虫に届くように株の上部までしっかりと散布する。また、本種の活動が活発になる早朝に、若齢幼虫や葉の表面にいる幼虫に対して農薬を散布する（老齢幼虫や作物の内部に潜り込んでいる幼虫には農薬の効果が低くなる）。

- (4) 粒剤については、防除効果が現れるまで時間を要することが多いため、粒剤を使用したほ場で本種の発生が続く場合には、速効性のある農薬を追加散布する。
- (5) 農林水産省のホームページにツマジロクサヨトウの防除対策等に関する情報が掲載されているので、防除の参考にする。  
[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで注意事項等を確認し、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底する。

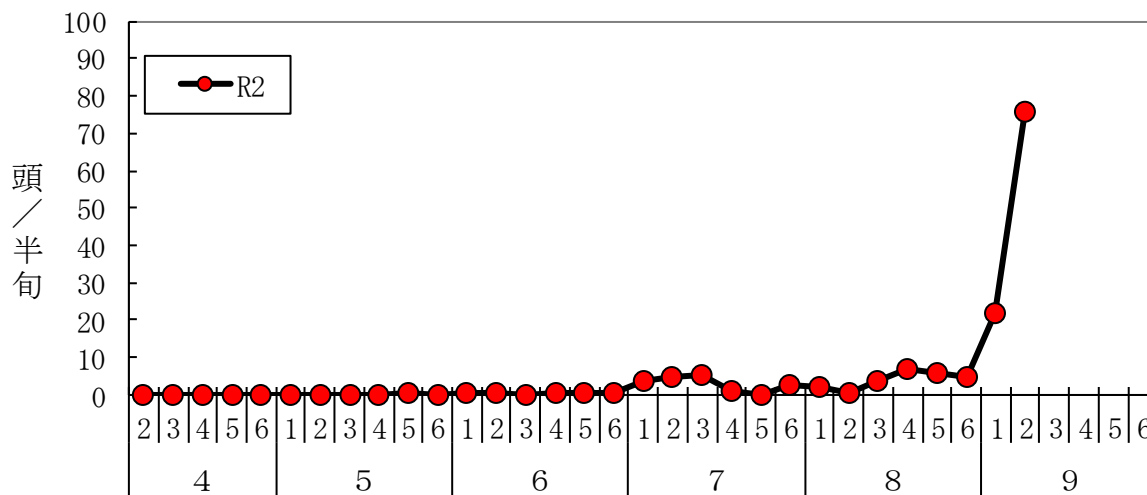


図1 合志市におけるツマジロクサヨトウ成虫のフェロモントラップ誘殺数の推移  
 ※農業研究センター内に設置したトラップ6台の誘殺数の平均



図2 飼料用トウモロコシの被害株



図3 ツマジロクサヨトウ幼虫

熊本県病害虫防除所  
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
 病害虫研究室 予察指導係)  
 担当：中村、作本 TEL 096-248-6490

## ツマジロクサヨトウに対しては 以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数使用量、使用回数を守ること、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

### ○飼料用とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(14459, 21694, 21695)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤(19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫90日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
MEP乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内

### ○未成熟とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤(19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
BT水和剤(14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	—
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
NAC粒剤	散布	雄穂抽出期～雌穂抽出期 但し収穫21日前まで		4～6kg/10a	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	株の上から均一に散粒する	収穫7日前まで		6kg/10a	2回以内
クロマフェノジド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロルフェナピル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
シペルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
フィプロニル水和剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
フェンバレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
ペルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	4回以内
メタフルミジン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
レピメクテン乳剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

○とうもろこし(子実)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	-
BT水和剤 (19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-
BT水和剤 (14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	-
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
イソキサチオン乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
エトフェプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクチン安息香酸塩乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	株の上から均一に散粒する	収穫7日前まで		6kg/10a	2回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロルフェナピル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
シペルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
フェンバレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
ペルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	4回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内

○さとうきび

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BPMC・MEP乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
BPMC・MEP粉剤	散布	収穫45日前まで		3～4kg/10a	4回以内
BPMC乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
MEPマイクロカプセル剤	散布	収穫90日前まで	-	500～1000倍	4回以内
MEP乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
MEP粉剤	散布	収穫45日前まで		3～4kg/10a	4回以内
カルボスルファン粒剤	株元処理土壌混和	培土時		6～9kg/10a	1回
カルボスルファン粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		6～9kg/10a	1回
クロチアジン水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2500倍	3回以内
クロチアジン粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		6kg/10a	1回
クロラントラニプロール・ジノテフラン水和剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	5000倍	3回以内
クロラントラニプロール粒剤	株元散布	生育期但し、最終培土まで		4～6kg/10a	1回
クロラントラニプロール粒剤	植溝土壌混和	植付時		4～6kg/10a	1回
フィプロニル粒剤	株元処理土壌混和	培土時		6kg/10a	1回
フィプロニル粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		4～6kg/10a	1回
プロチオホス粉粒剤	株元処理土壌混和	生育期但し、収穫90日前まで		15kg/10a	2回以内
ベンフラカルブ粒剤	株元散布又は株元土壌混和	培土時		4～6kg/10a	1回
ベンフラカルブ粒剤	植溝土壌混和	植付時		6～9kg/10a	1回

○水稲

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (20479, 23943)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	2000～4000倍	-
BT水和剤 (20479, 23943)	無人航空機による散布	発生初期但し、収穫前日まで	0.8L/10a	16倍	-
EPN乳剤	散布	収穫60日前まで	-	1000倍	1回
MEP乳剤	散布	収穫21日前まで	60～150L/10a	1000倍	2回以内
エトフェプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		3～4kg/10a	3回以内
エトフェプロックス乳剤	散布	収穫14日前まで	60～150L/10a	1000倍	3回以内
スピネトラム水和剤	散布	収穫7日前まで	60～150L/10a	4000～6000倍	2回以内

(注)飼料用米への農薬使用については、別途「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」(平成21年4月20日付け21消安第658号 21生畜第223号)及び「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」で定められていますので、ご注意ください。

○稲(箱育苗)

農薬の種類	使用方法	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
クロラントラニプロール粒剤	育苗箱の上から均一に散布する	は種時覆土前～移植当日	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	1回
スピノサド粒剤	育苗箱の上から均一に散布する	移植2日前～移植当日	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	1回
フィプロニル粒剤	育苗箱の上から均一に散布する	は種時覆土前～移植当日	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	1回

(注)飼料用米への農薬使用については、別途「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」(平成21年4月20日付け21消安第658号 21生畜第223号)及び「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」で定められていますので、ご注意ください。

## ○さつまいも

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (21694, 21695)	散布	発生初期収穫前日まで	100～300L/10a	500倍	-
BT水和剤 (21694, 21695)	散布	発生初期収穫前日まで	100～300L/10a	500～750倍	-
BT水和剤 (19616, 19618, 19899, 20653, 21694, 21695, 21944, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	-
BT水和剤 (20479, 23943)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-
BT水和剤 (20479, 23943)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000～3000倍	-
EPN乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
PAP粉剤	散布	収穫7日前まで		3kg/10a	4回以内
アラニカルブ水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	5回以内
インドキサカルブ水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
エトフェンブロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	3回以内
エマクチン安息香酸塩・クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
エマクチン安息香酸塩乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
クロマフェノジド水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	3回以内
クオルフェナビル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
クオルフルアズロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	5回以内
シアントラニプロール水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	3回以内
シベルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
シベルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
シベルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	5回以内
シベルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	5回以内
スタイナーネマ カーポカプサエ剤	土壌灌注	老令幼虫発生期	500～2000L/10a	2億5000万頭(約100g)/10a	-
スピネトラム水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2500～5000倍	2回以内
ダイアジノン・メソミル粒剤	散布	収穫30日前まで		4～6kg/10a	2回以内
テブフェノジド水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000～3000倍	3回以内
テブフェノジド粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	3回以内
テフルベンズロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
ノバルロン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	2回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
フェンバレレート・マラソン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	5回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～6000倍	2回以内
プロチオホス乳剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
プロフェノホス乳剤	散布	収穫7日前まで		1500倍	3回以内
メソミル水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	5回以内
メソミル粉粒剤	散布	収穫7日前まで		3～5kg/10a	5回以内
メタフルミジン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
メトキシフェノジド水和剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	4000倍	3回以内
ルフエスロン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000～3000倍	2回以内
レピメクチン乳剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～3000倍	3回以内

## ○ソルガム(飼料用)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
アセフェート水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

## ○きび

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
BT水和剤(19885, 21944, 20653)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-
BT水和剤(14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	-
BT水和剤(21694, 21695)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	-

## ○イネ科牧草

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
MEP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
ジノテフラン水溶剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
ジノテフラン液剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

## ○しょうが

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(19885)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-
アセフェート水和剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
インドキサカルブ水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1500倍	5回以内
クロマフェノジド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
クロラントラニリブロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クローフェナピル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
ジフルベンズロン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
テブフェノジド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
テフルベンズロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
トラロメリン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1500倍	5回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
メソミル水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
メタフルミジン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内

## ○はとむぎ

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
カルタップ粒剤	散布	収穫14日前まで		4kg/10a	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫14日前まで	60～150L/10a	1500倍	2回以内
BT水和剤(14459)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	-
BT水和剤(21694, 21695)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	-
BT水和剤(19885, 20653, 21944)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	-

(注)BT水和剤に記載している( )内数字は登録番号。